

鶴岡八幡宮・夏越祭とぼんぼり (2021年8月6日)

鎌倉夏の風物詩になっている鶴岡八幡宮のぼんぼり祭を見てきた。

この「ぼんぼり祭」は夏越祭、立秋祭、実朝祭と言う神事も含まれ、まずは夏越祭から始まる。

ここでは夏越祭とぼんぼり祭での写真紹介である。

なおぼんぼり祭は立秋の前日に行われる祓いの行事、夏越祭から始まり4日間、今年は9日まで行なわれる。(年により3日間の時もある)

「夏越祭」は夏の邪気を祓う神事が源氏池のほとりで行われた後、参道で「茅の輪」くぐりを行い健康を祈願するものだとのこと、その後、舞殿に移り神事と巫女による「夏越の舞」が奉納されて終わる。

(鎌倉こども風土記など)

夏越祭の始まる3時を目標に、家を出発。・・・時間までの間、ぼんぼりを見たりしていた。



暑い日中だからか？緊急事態宣言下だからか？
人出は少ない。



著名人、書家、画家などからの献燈のぼんぼりは400本あると言
い夕方には巫女さんの手により灯が入れられる。



茅の輪の前には柵があり、まだくぐれな



3時、宮司さんお見えになる。
一同頭をたれてお迎えする。

夏越祭

夏越祭は源氏池の畔でささやかに行われる。



何が入っているのか分からないが木の皿を銘銘に置いていく。



ここでは「夏越祭古式詞」がよまれる。
ほぼ10分ほどで終わり、茅の輪の方に移動される。
私は別ルートで茅の輪に行く。



源氏池畔でお清めしたあと、今年の茅の輪を1番にくぐり舞殿に向かい神事が行われる。



太鼓、笙、笛、巫女さんは事前に宮司の到着を待つ。

ここでは再度夏越の神事が行われ、4人の巫女による「夏越の舞」が奉納された。



夏越の舞



夏越の舞が終わると官司により「夏越祭祝詞」が読まれ、直後來場者全員に本殿側に向き、一礼を促し、夏越祭が終わる。
神事途中、アナウンスに従い二礼二拍手をしたり、頭をたれたり、そのような時の写真はない。



夏越祭の終わったのは3時40分、私の健康診断の結果を聞くのを4時40分に予約しており、急ぎ家に戻り、シャワーを浴びクリニックに、ぼんぼり祭の意識なく医者の方の空いている時間を予約したことを後悔。
結果を聞いたあと、家で一休み、ぼんぼり祭を見に6時目指して再度鶴岡八幡宮に行く。

ぼんぼり祭

6時、まだまだ暑い。なぜ6時？それは6時30分～40分にぼんぼりの灯入れがあり、それを見たいからである。それまでぼんぼりを見たりしてフラフラ、今年は実に人が少ないと思った。例年の半分以下ではないだろうか？やはりコロナが怖いからか。



既に多くの方が無病息災を願って茅の輪くぐりをしていた。



今頃になって蕾がいっぱいあったハス。



竹中直人氏のぼんぼりは絵の具が厚すぎ
ろうそくでは見られない。



皆さんお馴染みの円覚寺の横田南嶺氏



光明寺、柴田哲彦氏



6時20分一体何人の巫女さんがいるのだろうか？これから灯入れの始まり。……あっという間に400本のぼんぼりに灯が入った。
(風などで灯が消えた場合、他の灯からうつして使う)





茅の輪横から舞殿を見る



二階堂正宏氏献燈



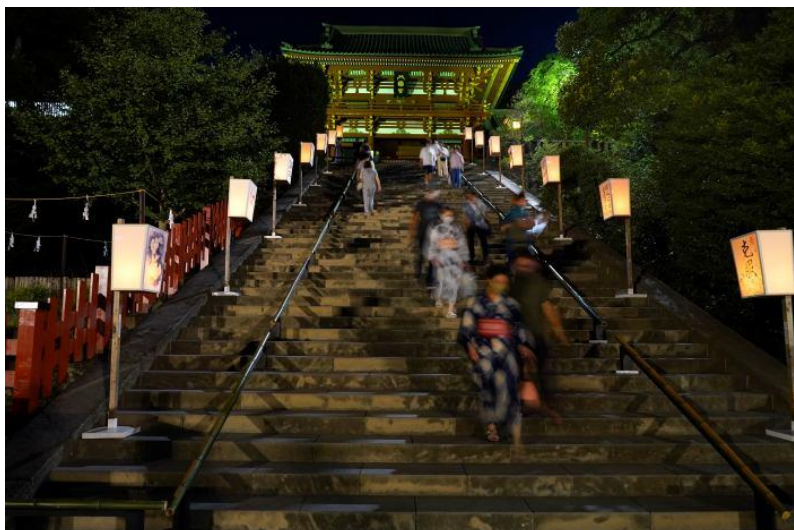
舞殿のまわり



舞殿左手側



本殿横には石原伸晃氏献燈のぼんぼりが



本殿前階段



本殿入口左側は養老孟司氏の指定席、昆虫のぼんぼりがお迎え。
右側、数年前までは今は亡き平山郁夫氏の指定席であった。



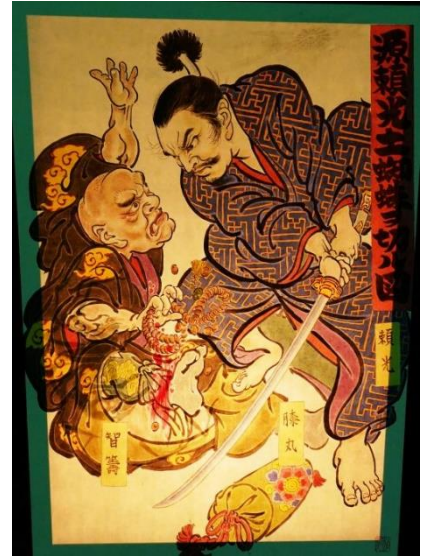
舞殿右手より白旗神社に抜ける道



白幡神社への参道



馬場道



鎌倉文華館、鶴岡ミュージアム入口



ぼんぼりを今日ほど良く見たことは無い、夕涼みの来場者が少なかったからである。
緊急事態宣言下でのこと、来場者の少ないことは好ましいのかも知れないがちょっと寂しかった。
夏越祭、神事では一日も早くのコロナ撲滅を願っていたと思う。
今日7日はこよみ上の秋、立秋ですがまだまだ暑さは続きます、お身体ご自愛ください。